

地域を元気にするコツを

参加無料
申込不要

学んでみませんか



「地域活性化システム論」は、科学技術・研究開発・ブランド戦略などを、地域活性化、産学連携、地域貢献などに活かす方法について、各界の有識者・著名人による講演から学ぶものです。本講演は大学院博士課程の授業ですが、一般の方にも広く公開して行いますので、講師の経験や知恵と一緒に学んでみませんか。関心のある特定の回のみ参加いただいても差し支えありません。

● 開催日時：毎週水曜日 16:30～18:00

● 開催場所：信州大学繊維学部 講義棟 31 講義室

[主催]：信州大学大学院総合工学系研究科

[共催]：上田市・小諸市・佐久市・坂城町・AREC中小企業応援センター・信州産学官連携機構(SIS) 地域ブランド分野・信州大学グローバルCOEプログラム国際ファイバー工学教育研究拠点

[協賛]：上田商工会議所



第9回【実例3】信大の地域ブランド研究

次回：12月1日(水) 16:30～18:00

信州大学 産学官連携推進本部

研究員 林 靖人

HAYASHI, Yasuto

文化的伝統や歴史、特色ある産業や生産品などを活かした地域ブランドづくりと、それらを地域の活性化につなげるために信州大学が取り組む「地域ブランド共同研究」の中心研究者。「黒部ダムカレー」にも関わる。信州大学における地域活性化への取組みについて話をお聞きする予定です。

今後予定している講師



喜多 俊之 工業デザイナー

12月8日(水) 16:30～18:00

国際的に著名な環境及び工業デザイナー。シャープの液晶テレビ AQUOS、イタリア Cassina 社の家具デザインなどを手がけ、その作品はニューヨーク近代美術館 (MoMA) などのパーマネント・コレクションに選ばれている。衰退する地場産業・伝統工芸を現代の生活スタイルに結びつけて再生をめざす取組みについて話をお聞きする予定です。



木村 聡 B級で当地グルメ・ネットワークス株式会社 取締役 12月15日(水) 17:30～19:00

八戸せんべい汁研究所 事務局長。郷土料理であるせんべい汁のお土産品開発に携わったのをきっかけとして、八戸の活性化に広く取り組む。「B級で当地グルメの祭典 B-1 グランプリ」の発案者。食を通じた地域活性化への取組みについて話をお聞きする予定です。

▲ 都合により開催時間が変更になっています。ご注意ください。



田中 尹 鶴岡織物工業協同組合 理事長

12月22日(水) 16:30～18:00

蚕が最初に吐き出す糸で、太くてボソボソとしていることから織物には不向きとされていた「きびそ」の利用を推進。地元の素材を独特の製品につなげる取組みについて話をお聞きする予定です。



大塚 洋一郎 NPO 法人 農商工連携サポートセンター 代表理事

平成23年
1月5日(水) 16:30～18:00

経済産業省大臣官房審議官(地域経済担当)を退官後、NPO 法人を設立。ライフワークとして農林水産業、加工、流通の連携により、魅力ある新しい製品やサービスを造り、地域に活力を産む運動を推進。農商工連携を通じた地域活性化への取組みについて話をお聞きする予定です。